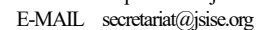


教育システム情報学会
ニュース・レター No.254





第 50 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：教育システム情報学の未来に向かって～第 50 回記念大会～

<https://taikai2025.jsise.org/>

- 開催日時： 2025 年 8 月 30 日(土) ～ 9 月 1 日(月)
- 会 場： 早稲田大学 早稲田キャンパス（対面形式で実施）
*一般セッションのみ一部オンラインセッションあり
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会
- 共 催： 早稲田大学人間科学学術院

■ 全国大会の実施方法について

第 50 回全国大会は、基本的に「対面」形式にて実施いたします。一般セッションのみ、大会 3 日目の午前に限る、一部でオンラインセッションを設けます。その他のプレカンファレンス、企画セッション、インタラクティブセッション、学生研究特別セッションは、すべて「対面」形式での実施となります。なお、50 周年記念シンポジウムについては、オンラインでもご参加いただける予定です。詳細につきましては、大会 Web サイトにてご確認ください。

■ 大会日程（予定）

2 日目と 3 日目の昼休みには、企業ランチョンセミナーが開催されます。無料で配布されるお弁当を食べながら、参加企業のプレゼンテーションを聴講するセッションです（お弁当は先着順です）。

8 月 30 日（土）	
9:00～11:50	プレカンファレンス
12:50～16:00	オープニング(開催校挨拶)、基調講演、50 周年記念シンポジウム(1)
16:20～17:30	インタラクティブセッション
8 月 31 日（日）	
9:00～12:00	一般・企画セッション
12:00～13:00	昼休み & 企業ランチョンセミナー
13:00～17:10	各種表彰、50 周年記念シンポジウム(2)、インタラクティブセッション・学生研究特別セッション
17:40～19:40	懇親会（会場：大隈ガーデンハウス 2 階「早稲田キャンパス 25 号館」）

9 月 1 日 (月)	
9:00~12:00	一般・企画セッション
12:00~13:00	昼休み & 企業ランチョンセミナー
13:00~17:00	一般・企画セッション, 50 周年記念シンポジウム(3), クロージング

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

<交通手段>

- JR 山手線 高田馬場駅から徒歩 20 分
- 西武鉄道 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 20 分
- 東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩 5 分
- 東京メトロ 副都心線 西早稲田駅から徒歩 17 分
- 都バス 学 02 (学バス) 高田馬場駅 - 西早稲田から徒歩 5 分 (西門から入構できます)
- 東京さくらトラム (都電 荒川線) 早稲田駅から徒歩 5 分

■ 大会までのスケジュール

参加申込を開始しました。発表者は必ず 7 月 3 日 (木) までに参加申込を行う必要がありますので、ご注意ください。

- 2025 年 6 月 5 日(木) 参加申込開始
- 2025 年 7 月 3 日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2025 年 7 月 29 日(火) [発表者以外] 前期参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2025 年 8 月 5 日(火) 参加費納入締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2025 年 9 月 1 日(月) [発表者以外] 後期・当日参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

前期参加申込 (発表者 7/3 まで, 発表者以外 7/29 まで)	後期・当日参加申込 (9/1 まで)
一般会員 : 7,500 円 学生会員 : 3,200 円 非会員 (学生以外) : 10,800 円 非会員 (学生) : 5,400 円 論文掲載料 : 1,000 円 (論文一編につき)	一般会員 : 8,500 円 学生会員 : 4,000 円 非会員 (学生以外) : 12,000 円 非会員 (学生) : 6,500 円
※全国大会当日, またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は, 会員料金でお申し込みいただけます。 [懇親会費]	
一般会員 : 7,000 円 学生会員 : 3,000 円	非会員 (学生以外) : 7,000 円 非会員 (学生) : 3,000 円

前期参加申込締切以降の申込は, 後期・当日参加申込の金額が適用されます。後期・当日参加申込は, クレジットカードのみ対応しますのでご注意ください。

Web 論文集公開日との兼ね合いによりお支払い後のキャンセルは 8 月 17 日(日)までとなりますのでご了承ください。(8 月 18 日(月)以降に新規お申し込みされた場合は返金には応じられません。)参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンスの参加は自由です。これのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

50 周年記念シンポジウムは一般公開です。Zoom 配信も予定しています。シンポジウム参加希望の方は事前に参加申込をしてください(全国大会の参加登録とは異なります)。本シンポジウムの参加申込に係る費用は無料となっており、大会の参加有無に関わらず申込みいただけます。詳細は大会 Web サイトをご確認ください。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

- 50 周年記念シンポジウム (8 月 30 日 (土) 14:30~16:00, 8 月 31 日 (日) 13:40~15:40, 9 月 1 日 (月) 14:40~16:40)
 - 1. 教育システム情報学の "温故知新"
 - 2. 中学の技術・家庭(技術分野) D 編から高校の情報 I へ、情報 I から大学の DS 教育へ
 - 3. 私が考える教育システム情報学の「教科書」
- プレカンファレンス (8 月 30 日 (土) 9:00~11:50)
 - PC1 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー
 - PC2 教育現場での心理的安全性のつくりかたワークショップ
 - PC3 探究的な学びを支援する生成 AI の挑戦と課題
 - PC4 数式自動採点システム STACK の問題作成から解答データ分析まで
 - PC5 教育システム情報学における研究と開発の橋渡し・Win-Win となる産学連携に向けて・
- 企画セッション (8 月 31 日 (日) 9:00~10:20, 10:40~12:00, 9 月 1 日 (月) 9:00~10:20, 10:40~12:00, 13:00~14:20) (56 件)
 - 1. 先進的学習支援技術とユーザインタフェース (3 件)
 - 2. 教育における心理的安全性の必要性と課題 (6 件)
 - 3. 地域 DX (メタバース, 生成 AI 等の活用) と探究学習支援 (3 件)
 - 4. インストラクショナルデザインとラーニングテクノロジーの融合による教授システム学の革新と未来 (4 件)
 - 5. インスティテューショナル・リサーチ (IR) におけるデータ駆動型意思決定の進化 : 教学マネジメントとデータサイエンスの融合 (4 件)
 - 6. 教育 DX と実世界指向学習環境 (4 件)
 - 7. 認知スキーマのモデリングと学習支援システム (13 件)
 - 8. 医療者教育における新技術活用 (7 件)
 - 9. これからの学習を生み出す学習デザイン・支援システム・分析 (6 件)
 - 10. 学習・教育支援における生成 AI 利活用のデザインと実践 (6 件)

- 懇親会
大隈ガーデンハウス2階（早稲田キャンパス 25 号館）にて開催
- 学生研究特別セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）・・・・・・・・（13 件）
- 一般セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）・・・・・・・・（28 件）
- 一般セッション（口頭発表：対面）・・・・・・・・（82 件）

1. スキル学習（4 件）	9. 教科教育（4 件）
2. デバイス活用／プラットフォーム活用（4 件）	10. 語学教育（4 件）
3. プラットフォーム開発（4 件）	11. 高等教育（4 件）
4. プログラミング教育（8 件）	12. 授業設計・インストラクショナルデザイン（4 件）
5. 医療・看護・福祉教育（3 件）	13. 初等中等教育／連携型教育（8 件）
6. 遠隔教育／ブレンディッド学習（3 件）	14. 情報リテラシー（4 件）
7. 学習環境デザイン／協調学習（4 件）	15. 情報技術教育（4 件）
8. 学習評価・アセスメント（4 件）	16. 先進的学習支援（16 件）
- 一般セッション（口頭発表：オンライン）・・・・・・・・（6 件）

■ インターネット接続について

大会期間中は、eduroam, または、早稲田大学のゲストアカウントのいずれかを利用して、無線 LAN サービスをご利用いただけます。利用方法等の詳細は、決まり次第、大会 Web サイトに掲載いたします。

■ 講演論文集について

第 45 回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2025 年 8 月 18 日(月)に大会参加者のみに公開され、2026 年 3 月 2 日(月)に一般公開されます。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトをご確認ください。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp (@を半角に変更してください)



全国大会プレカンファレンス 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

担当者： 学会誌編集委員会

開催日時： 2025年8月30日（土）大会1日目 9:00～11:50

オーガナイザ： 松浦健二（徳島大学）、後藤田中（香川大学）、高木正則（電気通信大学）、
近藤伸彦（東京都立大学）、山元翔（近畿大学）、林佑樹（大阪公立大学）、
油谷知岐（大阪公立大学）、吉原和明（近畿大学）

申込締め切り： 2025年8月4日（月）

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？本学会の論文カテゴリは「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の4つです。たとえば、「論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としない」、「実践論文が満たさなければならない基準って何だろう？」、「研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい」、「査読における考え方を整理したい」など、投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について、編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見出します。

本セッションは、Webサイト「採録論文・受賞論文ハイライト」の活用方法と「反転+ディスカッションベース」の論文投稿の相談会の2部構成です。セッション前半では、2020年の学会誌から掲載している、論文の「問い」や「面白さ」を著者が分かりやすく紹介する「採録論文/受賞論文ハイライト」に関する取り組みや、「採録論文/受賞論文ハイライト」を掲載しているWebサイト（<https://scrapbox.io/jsise-rq/>）を紹介し、研究テーマを検討したり、論文投稿に向けて研究を整理したりする際に本サイトを活用する方法について説明する予定です。

セッション後半では、これまでもご好評いただいている、論文投稿に関わる相談会を“反転+ディスカッション”ベースで実施いたします。これは、論文執筆に関わるチュートリアル動画コンテンツを事前に視聴していただいた上で、相談者に発表スライドを作成いただき、本セッション中に論文投稿に向けたご相談や議論を行っております。論文の投稿について、お悩みや不安、疑問がある方など、ご相談を希望される方（Advisee）は、下記の手順で申し込みをお願いします。ご応募お待ちしております。

1. 【事前】 次のURLから応募ください（<https://forms.gle/3XKo3tsfmpgyTMEMA>）
2. 【事前】 応募後にお知らせするチュートリアル動画を閲覧
3. 【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案等を発表
4. 【事後】 論文投稿（可能であれば）

※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します。選定後、相談の参考にさせていただくため、事前に発表スライド等の資料の提出をお願いしております。

問い合わせ先： 高木正則（電気通信大学） takagi-m@uec.ac.jp



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/~char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。
 - 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。

Editorial	Preface to Volume 4: Evolving Personalized Learning Environments Hidenobu Kunichika, Hiroki Oura
Invited Paper	Intelligent Technologies for Personalized Practice Systems Peter Brusilovsky
	Personalized Learning Environments -Core Concepts, Technologies and Practices Heinz Ulrich Hoppe, Rwitajit Majumdar, Hiroaki Ogata
	Formative Assessment and Meaningful Learning with Concept Mapping through Recomposition Tsukasa Hirashima
Regular Paper	Lack of Visual Information Implicitly Inhibits Interactivity of Virtual Discussion: The Effects of Video Presence Ryosuke Onoda, Nanako Uemura
	Evaluation of AI-Generated English Reading Comprehension Questions by Japanese Teachers of English Alexander Maas, Toru Nagahama, Tatsuya Horita
Short Paper	The Effectiveness of Situational Confirmation in Remote Verbal Communication Kaito Takashima, Yuki Yamada
Translation	The Effect of Proactive Behavior on Competence Improvement in a Workplace through Reflection: A Focus on Young Workers in the 20s Satoshi Tanaka, Megumi Ikeda, Ryohei Ikejiri, Tomoyuki Suzuki, Kaede Kido, Yusuke Tsuchiya, Ryo Imai, Yuhei Yamauchi
	The Relationship between Children's Listening Ability, Its Influencing Factors, and the Children's Academic Ability in Science Takeshi Miyauchi, Chiharu Kogo

Translation	Qualitative Study on the Promotion of Experiential Learning and Reflective Support Intended for Mid-level Employees by Managers Who Balance Organizational Performance with Employee Development Chiaki Hiromatsu, Shigeto Ozawa
-------------	---

注：Translation は，日本教育工学会論文誌に掲載された論文の一部を英訳したものです．



「ラーニングイノベーショングランプリ 2025」審査結果発表 および表彰式・受賞者プレゼンテーションのご案内

産学連携委員会 委員長 米谷 雄介

JSiSE が共催しているラーニングイノベーショングランプリ 2025 (LIGP2025) について、二次審査（最終審査）がおこなわれ、7 月 1 日に受賞結果が発表されました。審査結果は、以下の通りとなりました。

■最優秀ラーニングイノベーション賞（ジンジャーアップ賞）

- ・マルチモーダルデータによるフィードバックを行なう VR 活用型保育スキル育成システム
九州大学 福岡・山田共同研究チーム

■優秀ラーニングイノベーション賞

- ・ネットワークの仕組みを体験的・自律的に学べる Web 教材: 通信プロトコルシミュレータ ProtoSim
大阪大学 浦西研究室
- ・TPO に応じた敬語・タメ語と視線マナーの運用力を育成する韓国語トレーニングシステム
関西外国語大学 卯木研究室

■奨励賞

- ・大量調理での基本動作の習得を目的とした VR 対応大量調理シミュレータを開発
東京電機大学 中山研究室 大量調理シミュレータ班
- ・動画注釈に基づく質問支援と学習過程の把握のための教育支援システム
神戸大学 清光研究室

■特別賞：株式会社イーラーニング EduDX 賞（提供：株式会社イーラーニング）

- ・動画注釈に基づく質問支援と学習過程の把握のための教育支援システム
神戸大学 清光研究室

■特別賞：サイコム フロンティアテクノロジー賞（提供：サイコム・ブレインズ株式会社）

- ・受講者のエンゲージメントを促進する講義ロボットのパーソナリティデザイン
電気通信大学 柏原研究室ロボットパーソナリティデザインチーム

■特別賞：LEC 学習改善賞（提供：株式会社東京リーガルマインド）

- ・受講者のエンゲージメントを促進する講義ロボットのパーソナリティデザイン
電気通信大学 柏原研究室ロボットパーソナリティデザインチーム

4 月 1 日に応募受付を開始し、5 月 15 日の締切りまでに 37 件の応募がありました。これらについて、産業界の 9 名の審査委員が審査をおこない、各賞を選定しています。二次審査は、プレゼンテーション動画（5 分以内、プレゼン形式）による発表でおこなわれました。審査は、【1】産業界から見た独創性・斬新性と【2】社会的価値（a：教育・学習に与えるインパクト，b：発想スケールの大きさ，c：

実用化された際の波及効果)の2つの観点からおこなわれ、審査結果に基づいた得点集計により7月1日に各賞が発表されました。

「LIGP2025」公式サイト <https://ligp.gingerapp.co.jp>

本グランプリの表彰式&受賞者プレゼンテーションと記念パーティを、東京国際フォーラムにて開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

※本イベントの配信、アーカイブ公開は行いませんので、是非会場にお越し下さい。

【日時】2025年7月18日(金) 15:00-18:30

- 1) 15:00-16:30 表彰式&受賞者プレゼンテーション
- 2) 17:00-18:30 記念パーティ

【会場】東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内 3-5-1)

◆表彰式&受賞者プレゼンテーション

時 間：15:00-16:30(90分間) ※受付開始：14:40

会 場：東京国際フォーラム ガラス棟4階「G402」会議室

参加費：無料

◆記念パーティ

時 間：17:00-18:30(90分間)

会 場：東京国際フォーラム ガラス棟4階「G407」会議室

参加費：一般 5,000円、学生 3,000円 ※当日会場にてお支払いいただきます

受賞イベントの詳細と申し込み <https://learning-innovation.jp/info/20250702/>

ラーニングイノベーショングランプリは、学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関(大学・大学院・高等専門学校等)の研究室(チーム)です。来年も開催いたしますので、皆さま奮ってご応募ください。

本グランプリの詳細及び各受賞者の応募内容は公式サイトをご覧ください。

【開催概要】

主催：一般社団法人ラーニングイノベーションコンソシアム(LIC)

共催：教育システム情報学会(JSiSE)、特定非営利活動法人デジタルラーニング・コンソーシアム(DLC)

協賛：日本情報科教育学会、日本教育工学会、人工知能学会、情報処理学会 CLE 研究会、電子情報通信学会教育工学研究会、学習分析学会

協力：ジンジャーアップ

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ゴールドスポンサー：デジタル・ナレッジ

ネーミングライツスポンサー：イーラーニング、サイコム・ブレインズ、東京リーガルマインド

【審査委員等】

■審査委員

吉田 自由児 : 株式会社デジタル・ナレッジ ※審査委員長
加藤 憲治 : LIC／デジタルラーニング・コンソーシアム
鎌田 純子 : 株式会社ボイジャー
小仁 聡 : 株式会社ラーニングシフト
長瀬 昭彦 : 株式会社 WARK
野田 景子 : 日本マイクロソフト株式会社
萩原 泰之 : 株式会社セントジェームズアソシエイト
橋本 賢一 : 株式会社富士通ラーニングメディア
花木 喜英 : サイコム・ブレインズ株式会社

■実行委員

川口 泰司 : LIC／株式会社ネットラーニングホールディングス ※実行委員長
青木 泰子 : LIC／株式会社イーラーニング
加藤 憲治 : LIC／デジタルラーニング・コンソーシアム
前田 宏 : LIC／株式会社ジンジャーアップ
長谷川 忍 : JSiSE／北陸先端科学技術大学院大学
米谷 雄介 : JSiSE／香川大学
平 治彦 : JSiSE／日本データパシフィック株式会社



2025 年度「産学連携奨励賞」受賞研究

産学連携委員会 委員長 米谷 雄介

教育システム情報学会産学連携委員会は、本学会の学生研究発表会における発表の中で、学術的な観点のみならず、産業的な観点からも、その研究開発および実践内容の、社会発展への寄与や産学連携への潜在性を含む将来への期待を改めて評価し、奨励することを目的とした「産学連携奨励賞」の表彰をおこなっています。今年度は、2024 年度学生研究発表会受賞者リスト (https://www.jsise.org/society_research/presentation/) に掲載されている 27 件が選考対象になり、以下の 7 件が受賞となりました。

■ 電気通信大学 宇都研究室【関東地区】

面接試験の観点別自動評価のためのマルチモーダル深層学習自動採点モデルの開発

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2025/02/2024_kantou_a09.pdf

■ 早稲田大学人間科学学術院 松居辰則研究室【関東地区】

多視点的アプローチによる人の内面的要因と第一印象形成との関連性のモデル化

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2025/02/2024_kantou_a06.pdf

■ 名古屋大学教養教育院・大学院情報学研究科 中村泰之研究室【東海地区】

数式自動採点システムの解答データを用いた Bayesian Knowledge Tracing による理解状況分析

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2025/02/2024_tokai_a09.pdf

■ 富山県立大学情報工学部データサイエンス学科 知能情報学講座【北信越地区】

タンジブルなプログラミングツール Logi-CUBE への推論機能の実装と評価

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2025/02/2024_hokushinetsu_a06.pdf

■ 信州大学 香山研究室【北信越地区】

モデリング学習支援環境における小学生のモデリング過程についてのプロセスマイニングによる基礎的検討

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2025/02/2024_hokushinetsu_a04.pdf

■ 香川大学 後藤田研究室【四国地区】

大学生活理解を促進するロールプレイ要素を用いたボードゲームの評価

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2025/02/2024_shikoku_a02_p02.pdf

■ 熊本県立大学 飯村研究室【九州・沖縄地区】

児童を対象とした食育支援アプリケーションの開発

https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2025/02/2024_kyusyu_okinawa_a01.pdf

選考の対象単位は、選考された発表をおこなった著者の所属する高等教育機関の研究室単位（もしくは複数研究室にまたがる場合にはプロジェクト／チーム単位）です。上記の受賞研究には、ラーニングイノベーショングランプリ 2025（LIGP2025）の二次選考シード権が副賞として与えられました。

LIGP2025 公式ウェブサイト：<http://ligp.gingerapp.co.jp/>



2025 年度 第 1 回研究会 開催報告

担当者： 大河雄一，加藤泰久，近藤伸彦，杣木佐知子，
真嶋由貴恵，東本崇仁，森本容介（研究会委員会）

テーマ： DX・AI 時代の学習環境／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般
開催日時： 2025 年 5 月 24 日（土）10:30～16:50
開催場所： 東京都立大学南大沢キャンパス
発表件数： 20 件

今年度の第 1 回研究会は、「DX・AI 時代の学習環境／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般」をテーマに、東京都立大学南大沢キャンパスで開催いたしました。対象とする教育としてはデータサイエンス教育、プログラミング教育、医療・看護教育、初等中等教育など、研究内容としては技術活用、教材提案、学習分析、実践報告など、多様な分野、観点からの研究発表が計 20 件行われました。

研究会の一部として、教育システム情報学会 50 周年記念講演会「学習分析の最前線と学会への期待」を、学習分析学会と合同で開催しました。学会員の皆様にも関心が高い学習分析をテーマに、松居辰則先生（早稲田大学）と田村恭久先生（上智大学）にご講演いただきました。松居先生の講演タイトルは「神経科学の知見に基づいた学習支援システム研究の可能性」で、学習のログデータや生体情報から計測できる心的状態に基づく従来の研究に加えて、神経科学的知見に基づくアプローチの可能性や課題に言及されました。田村先生の講演タイトルは「生成 AI 時代の学習支援と学習分析」で、教育や学習分析における生成 AI の活用について、最新の情報や活用に応じた課題を解説いただきました。



田村先生の講演。対面、オンラインともに多くの方が参加されました。

研究会は対面のみで、講演会は対面とオンラインのハイブリッドで実施しました。研究発表のタイトルは、以下の通りです。

- 複数の博物館を巡るリベラルアーツ教育の実践：
プロジェクト・ベースド・リベラルアーツの構築を目指して
- 声楽指導者が歌声の成長評価で着目する「特徴的母音」に関する暗黙知の形式知化の試み
～〈Caro mio ben〉における cessa /e/と tanto /a/の場合～
- 作品共有により主体的な学びと協働学習を促す STEAM 教材：PICAPICA-SHARE の提案
- AI ボイスレコーダーを用いた授業中の児童の発話の要約と試行的評価
- データサイエンス入門の授業後アンケート調査分析
- 社会変化とイノベーションの観点から自律的学習者の育成を目指す医療系データサイエンス科目の実践
- 学校救急処置記録における生成系 AI による分類の可能性
- 生成 AI を活用した試験問題作成システムの開発
- 看護師の多重課題時における援助要請訓練のためのエデュテインメント教材による実証実験結果
- 平均歩行速度が異なる高齢者 2 群における歩行周期の時系列データの特徴に関する基礎的検討
- 看護基礎教育における自己調整学習を促進する自動フィードバックツールの構想と試行
- 看護師への実習説明に用いた H5P 教材利用に関する学習分析
- メタバースと仮想空間を活用した次世代看護教育
～CG によるデジタルシミュレーション環境の構築と展望～
- 解剖模型の演習を多人数で実施するための授業設計の工夫
ー 3D モデルと謎解きゲームの導入による実施の可能性について ー
- プログラミングを対象としたサブゴール学習環境における援助要請行動パターン
- 学習行動情報を利用した学習過程の把握と活用 - 質問支援とプログラミング能力測定 -
- プログラミング学習サービス「paiza ラーニング」が学校現場で果たす役割
- 小学生のモデリング学習過程についてのプロセスマイニングによる基礎的検討
- モデリング学習支援環境における機能拡張とその機能評価
- プログラミングの授業実践を通じて育成する情報活用能力の分類



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



JSiSE の過年度刊行物の半額での販売について【7 月末まで】

教育システム情報学会では、2024 年 41 巻 1 号以前に発行された過年度刊行物の在庫を整理することになりました。これに伴い、現時点で在庫があるものについては定価の【半額】でお譲りいたします。ただし送料は購入者様にてご負担をお願いいたします。

本会が公式に販売する最後の機会です。ぜひ購入をご検討ください。今回の販売は 7 月末で終了し、その後過去の在庫はすべて処分する予定です。過年度刊行物を購入できる最後の機会となりますので、お早めにご注文ください。

対象となる刊行物および販売価格は次の通りです。なお、販売開始時点で在庫がないものもございます。ご注文いただいた順に手続きをいたします。万が一在庫切れの際にはご容赦くださいますようお願いいたします。

1. 【紙媒体】教育システム情報学会誌 1 冊あたり定価 3,300 円→1,650 円（税込）1995 年 12 巻 1 号から 2024 年 41 巻 1 号
2. 【紙媒体】The Journal of Information and Systems in Education（英文誌）1 冊あたり定価 3,300 円→1,650 円（税込）2002 年 1 巻 1 号から 2010 年 11 巻 1 号
3. 【紙媒体】教育システム情報学会 研究報告 1 冊あたり定価 1,100 円→550 円（税込）1996 年度第 2 回から 2015 年度第 7 回
4. 【CD-ROM】教育システム情報学会 研究報告 1 枚あたり定価 1,100 円→550 円（税込）2017 年度第 1 回から 2019 年度第 5 回
5. 【紙媒体】教育システム情報学会全国大会講演論文集 1 冊あたり定価 6,600 円→3,300 円（税込）2003 年度第 28 回，2005 年度第 30 回

ご注文は以下の URL よりお願いいたします。

<https://forms.gle/i9tpbn3EiMNWJP8W6>

お問い合わせは、刊行物の販売・管理委託先である毎日学術フォーラム(maf-sales***navi.jp)までお願いいたします。メール送信時には***をアットマークに置き換えてください。

販売に直接関係しないその他のお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。

関東支部より活動報告



関東支部 2025 年度支部総会 開催報告

担当者： 関東支部 支部長 山本 樹（文部科学省）

教育システム情報学会関東支部の 2025 年度支部総会を、2025 年 5 月 31 日（土）にオンラインで開催いたしました。支部総会の出席者 20 名と委任状 69 名、計 89 名により総会が成立致しましたことをご報告いたします。議事として以下の事項について提案し、ご承認いただきました。

1. 支部役員の構成

本年度の支部役員および運営委員の構成は、以下の通りです。

支部長：大河 雄一（東北大学）※新任

副支部長：辻 靖彦（放送大学）

小島 一晃（帝京大学）※新任

幹事：東本 崇仁（千葉工業大学）

宇都 雅輝（電気通信大学）※新任

運営委員：

総務・財務担当：山本 樹（文部科学省）※新任

企画担当：東本 崇仁（千葉工業大学）※兼務，新任

広報担当：宇都 雅輝（電気通信大学）※兼務，新任

植野 真臣（電気通信大学）

柏原 昭博（電気通信大学）

加藤 泰久（東京通信大学）

國宗 永佳（千葉工業大学）

近藤 伸彦（東京都立大学）

高木 正則（電気通信大学）

高橋 暁子（千葉工業大学）

田和辻可昌（東京大学）

中嶋 竜一（株式会社デジタル・ナレッジ）

根本 淳子（明治学院大学）

長谷川 理（武蔵野大学）

松居 辰則（早稲田大学）

松下孝太郎（東京情報大学）

三石 大（東北大学）

山崎 治（千葉工業大学）

渡辺 博芳（電気通信大学）

顧問：仲林 清（公立千歳科学技術大学）

2. 関東支部支部会則 第 16 条, 第 18 条, 第 19 条, 第 20 条, 第 24 条の改定について

3. 2024 年度の活動報告・2025 年度の活動予定

4. 2024 年度の決算報告・2025 年度の予算計画

5. その他

広報からのお知らせ



ニュースレター発行回数変更のお知らせ

2024 年度より、ニュースレターの発行は年 4 回となります。研究会の開催時期と異なるため、今後は、年間スケジュールおよび開催報告のみの掲載となります。開催案内と講演募集につきましては、学会 Web サイトでご確認ください。



X (Twitter) アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 (secretariat@jsise.org) までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

後援：「第6回学力向上アプリコンテスト」

日時：2025年4月1日（火）～2025年11月15日（土）

会場：表彰式は UEC アライアンスセンター100 周年記念ホールにて開催

後援：「36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」

日時：予選 2025年6月28日（土）

本選 2025年10月11日（土）～10月12日（日）

会場：本選 島根県立産業交流会館 くにびきメッセ

協賛：「日本情報科教育学会第18回全国大会」

日時：2025年7月5日（土）・6日（日）

会場：武蔵野大学 有明キャンパス

協賛：「情報教育シンポジウム SSS2025」

日時：2025年8月19日（火）～21日（木）

会場：武蔵野大学 有明キャンパス

協賛：「2025年度工学教育研究講演会」

日時：2025年8月27日（水）～29日（金）

会場：京都大学桂キャンパス

協賛：「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2025」

日時：2025年9月10日（水）～12日（金）

会場：金沢工業大学 扇が丘キャンパス

協賛：「第27回日本感性工学会大会」

日時：2025年9月17日（水）～19日（金）

会場：タワーホール船堀

共催：「第20回医療系 e ラーニング全国交流会」

日時：2025年10月11日（土）～10月13日（月・祝）

会場：北海道大学とオンラインによるハイブリッド開催

後援：「日本情報オリンピック」

日時：許可日～令和 8 年 3 月 25 日



国際会議のご案内

- 2025 年 7 月開催

AIED 2025 26th International Conference on Artificial Intelligence in Education

開催期間 : July 22-26, 2025

開催地 : Palermo, Italy

URL: <https://aied2025.itd.cnr.it/>

- 2025 年 12 月開催

ICCE 2025: The 33rd International Conference on Computers in Education

開催期間 : December 1-5, 2025

開催地 : Chennai, India

URL: <https://icce2025.study.iitm.ac.in/>



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料**にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の10名の皆様が新しく入会されました。(2025年3月26日～2025年6月27日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
清水 克彦	正会員	中林 寛人	学生会員
Majumdar Rwitajit	正会員	山口 昂大	学生会員
戸田 真志	正会員	山本 利一	正会員
白石 祈枝	正会員	山本 文枝	学生会員
菊原 美緒	正会員	谷山 詩温	正会員
吉村 正照	正会員	星野 宏	学生会員
岡崎 俊明	賛助会員からの正会員	鈴木 智恵子	正会員
南部 元彦	賛助会員からの正会員	段 瑞琪	学生会員
川本 弥希	正会員	植田 厚志	賛助会員からの正会員
齋藤 瑞樹	学生会員	福野 憲一	正会員
塩尻(齋藤) 亜希	正会員	伊藤 響	学生会員
秋山 實	正会員	佐方 祐貴	正会員(購読)
波多野 梢	賛助会員からの正会員	北川 みやび	学生会員
シュレスタ アロク	学生会員	合田 友美	正会員
山内 大聖	学生会員(購読)	加藤 寛士	正会員
立石 力斗	正会員	荒川 龍聖	学生会員
平山 祐	学生会員	坂 知樹	正会員
池田 京子	正会員	水野 咲希	学生会員
細川 淳嗣	正会員	東雲 美幸	学生会員
小倉 直樹	賛助会員からの正会員	萩原 浩平	正会員
秀浦 春斗	学生会員	井芹 俊太郎	正会員
原田 紗希	学生会員	中沢 尚也	学生会員
川合 拓斗	学生会員	楠瀬 法生	学生会員
里 光	学生会員	小林 弘幸	学生会員(購読)
濱田 大幹	学生会員	鈴木 伸哉	正会員
吉岡 翔太	学生会員	反町 祐啓	学生会員
光 真司	学生会員	佐藤 光浩	学生会員
山崎 智仁	正会員	工藤 うみ	正会員(購読)
應供 亮生	学生会員	程田 恭介	賛助会員からの正会員
山口 誠一	正会員	大西 朔永	正会員
小林 溪太	正会員	前田 陽也	学生会員
青木 愛一郎	学生会員	三谷商事株式会社	賛助会員

paiza 株式会社	賛助会員	クラスメソッド株式会社	賛助会員
------------	------	-------------	------